

第5回瑞穂町新庁舎 建設基本計画協議会	
公開・非公開の区分	公開 ・ 一部公開 ・ 非公開
非公開 (一部公開)の理由	条例第 条に該当
日 時	平成26年11月26日(水) 16:00~17:30
場 所	瑞穂町民会館 第2会議室
出席者	<p>会 長 加 戸 佐 織 (瑞穂町の協働を考える会議)</p> <p>副会長 山 口 齊 (瑞穂町社会福祉協議会)</p> <p>副会長 猪 俣 貴 昭 (瑞穂町商工会)</p> <p>委 員 北 山 和 宏 (建築に関する有識者)</p> <p>〃 須 永 修 通 (建築に関する有識者)</p> <p>〃 井 上 一 志 (公募による住民)</p> <p>〃 田 中 道 治 (公募による住民)</p> <p>〃 鳥 海 勝 男 (瑞穂町町内会連合会)</p> <p>〃 瀧 澤 千代子 (瑞穂町環境審議会)</p> <p>〃 橋 本 満 裕 (警視庁福生警察署)</p> <p>〃 阪 野 文 朗 (東京消防庁福生消防署)</p> <p>〃 栗 原 裕 之 (瑞穂町議会事務局長)</p> <p>〃 田 辺 健 (瑞穂町企画部長)</p> <p>〃 横 澤 和 也 (瑞穂町住民部長)</p> <p>〃 村 野 香 月 (瑞穂町福祉部長)</p> <p>〃 田 中 和 義 (瑞穂町都市整備部長)</p> <p>〃 坂 内 幸 男 (瑞穂町教育部長)</p> <p>事務局 大 井 克 己 (新庁舎建設担当主幹)</p> <p>長谷川 将 之 (管財係 係長)</p> <p>清 水 健 吾 (管財係 主任)</p> <p>株式会社 大誠建築設計事務所</p>
傍 聴 者	1名

議 題	<p>(1) 災害時拠点機能、安全・安心のための機能について</p> <p>(2) 省エネルギー対策、高効率機器の導入、維持管理費の低減について</p> <p>(3) その他</p>
内 容	<p>町民アンケートの結果、町民の関心の高かった災害時の拠点機能及び安全・安心のため機能について、省エネルギー対策及び高効率機器の導入、維持管理費の低減について協議をしました。</p> <p>建築構造の学識経験者である北山委員より庁舎の建設にあたり一般的な構造と有効性について説明をいただきました。</p> <p>建築環境の学識経験者である須永委員から省エネ・再エネ東京仕様について説明をいただきました。</p> <p>井上委員より色の持つ力、色彩のエネルギーについて説明をいただきました。</p>
委員意見及び確認事項等	<p>委員からの意見について、以下のとおり要点筆記します。</p> <p>(1) 意見について</p> <p>① ヘリポートの設置について検討をするべきである。庁舎以外の候補地として、学校施設や体育施設が挙げられているが、庁舎周辺の近い場所にあるので、調査設置の必要性や技術的に可能かどうかも含め、今後の設計の中で判断すべきと考える。</p> <p>② ビューパークにヘリポートを設置すると震災時に庁舎との往復が不便だと感じる。震災により坂が崩れてしまうようなことがあると、往復ができなくなる可能性も考えられる。</p> <p>③ 庁舎全体を免震構造にするのか、部分的な免震構造にするのか検討するべきである。</p> <p>④ 外断熱構造がしっかりしていれば、災害によりコンクリートにひび割れ等が生じても、5日間程度は室内温度の低下を抑制できる。</p> <p>⑤ 情報通信機能として、住民からのスマートフォンによる情報提供が受けられるシステムの構築などを検討すると良い。</p> <p>⑥ プレスルームや災害対策本部等の常時使用しない部屋を会議室等として兼用できるような配慮をしてほしい。</p> <p>⑦ 新庁舎を設計するときは運用を考えて設計をするべき。建築時のコストが上がっても光熱費が削減できる。長い目で見れば、省エネかつ省資源ということになる。</p> <p>⑧ 色にはエネルギーがあり、生命力の高揚を表現する赤は企画部、温もりを表現する橙色は福祉部、光と希望を表現する黄色は教育部、バランスと中庸を表現する緑は住民部、再生を表現する青は都市整備部というように各部署によって色を取り入れ</p>

たデザインを採用してはどうか。

- ⑨ 色以外にも花等によって、来庁者が親しみやすい演出を新庁舎に取り入れてはどうか。